

少年少女大冒険シリーズ 11

人類初の月面着陸

アポロ11号の記録

監修＝長沢和俊





少年少女大冒険シリーズ

(早稲田大学文学部教授)
監修長沢 和俊

世界的に有名な探検家の生涯と冒険の醍醐味を、小学生にも無理なく読める文章と、豊富な写真や図版で追う画期的シリーズ。

A5版 上製本
定価 各780円



1 シルクロード大旅行
マルコ・ポーロ

史上最大の旅行家、マルコ・ポーロの足あとをたどる。

2 新大陸をもとめて
コロンブス

大航海時代の英雄コロンブスの探検と生涯をえがく。

3 世界一周の大冒険
マゼラン

はじめて世界一周をなした男たちの涙と汗の物語。

4 ビーグル号航海記
ダーウィン

偉大な生物学者ダーウィンの冒険と観察の記録。

5 暗黒のアフリカ探検
リビングストン

暗黒大陸に光を投じた人の、生涯をかけた探検記。

6 極地探検にいとむ
アムンゼン

見たすかぎりの銀世界に生き、そこで死んだ男の物語。

7 砂塵のかたに
ヘーデン

今世紀最大の中央アジア探検家ヘーデンの世界を紹介する。

8 大海底二万メートル
ピカール親子

成層圏と深海にいとんだ、ピカール親子の大冒険。

9 大空への挑戦
ツエッペリン飛行船

大空に夢とロマンをのせて浮かぶ飛行船の記録。

10 コンチキ号探検記
ハイエルダール

キャブテン「コンチキ、ハイエルダール」の夢と信念の物語。

11 人類初の月面着陸
アポロ11号の記録

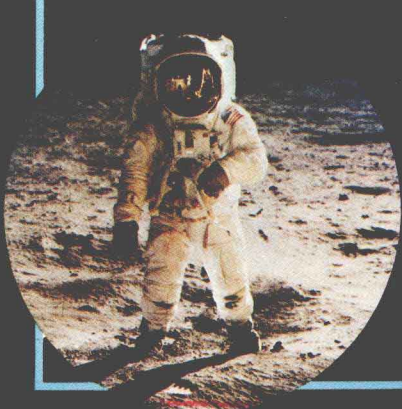
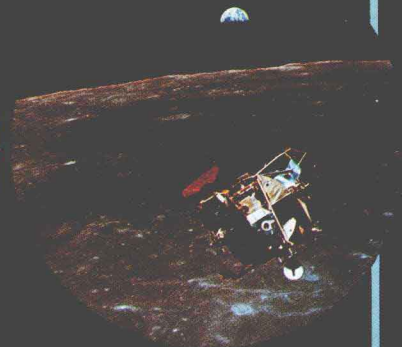
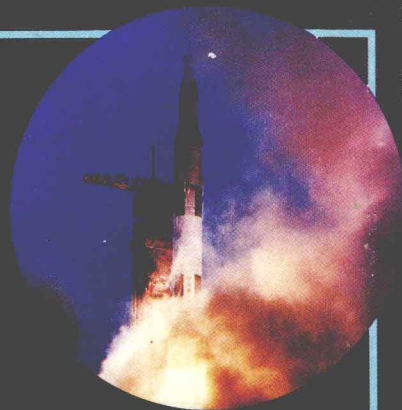
月世界へはじめて第一歩をきるまでの努力を再現する。

12 北極点への挑戦
植村直己

世界にはこる日本人探検家、植村直己の冒険をえがく。

アポロ11号の月面着陸

ごう
げつめんちやくりく





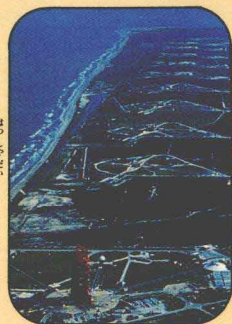
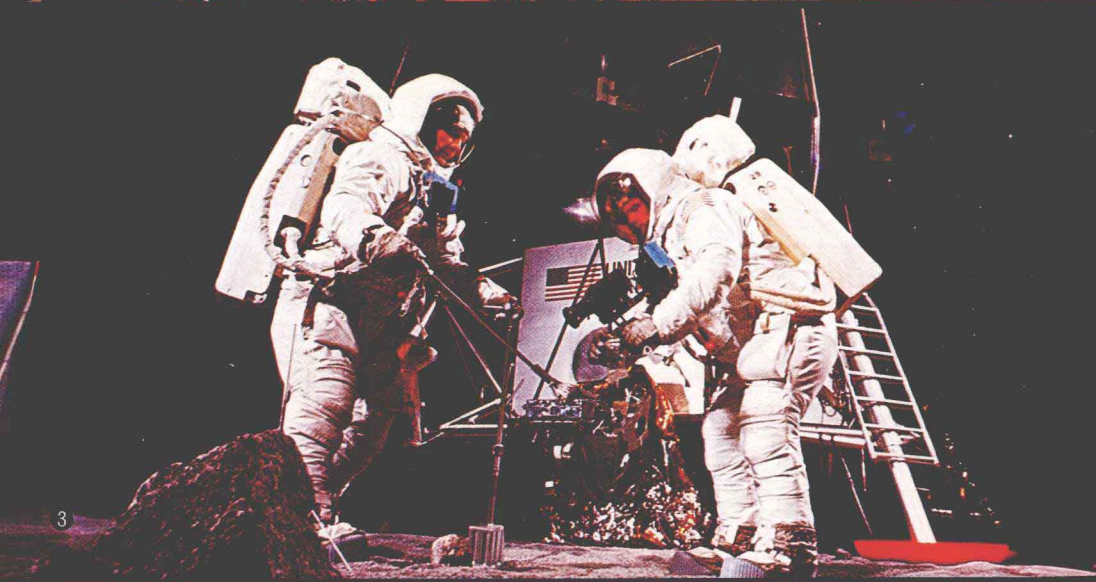
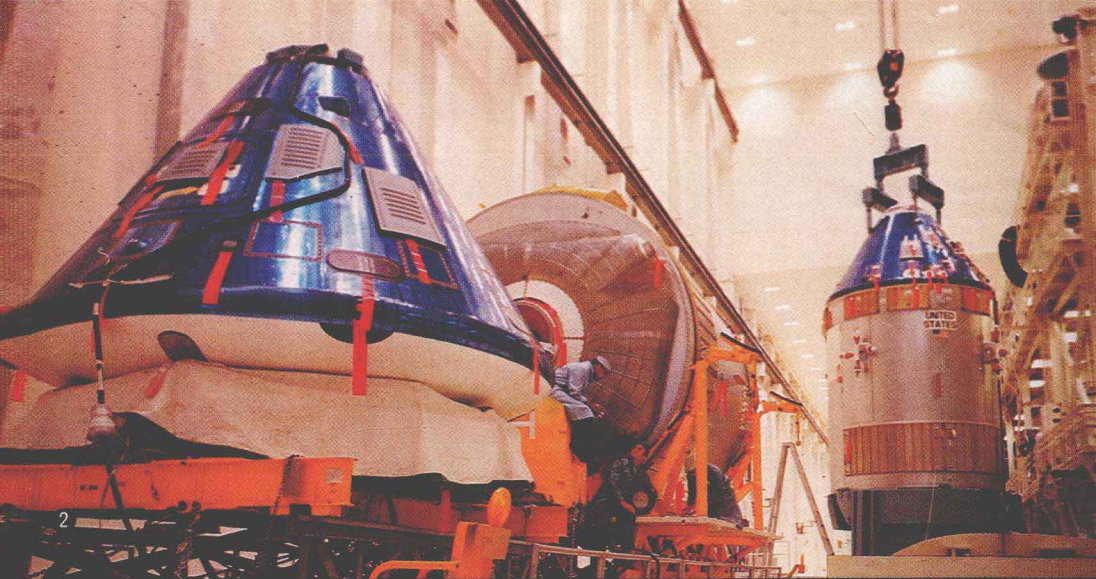
1

① 地上から望遠鏡で見た満月。
 とおいむかしから人類に、
 おおくのゆめとロマンを、
 あたえつづけてきた月——
 あの月には、いったい
 ながあるのだろう。
 人類のはてしない探検心は、
 地球をはなれ、月へとむかう。

● 人類初の月着陸にいとむ
 アポロ11号の三飛行士。
 写真右から

エドウィン・オルドリン、
 マイク・コリンズ、
 ニール・アームストロング。

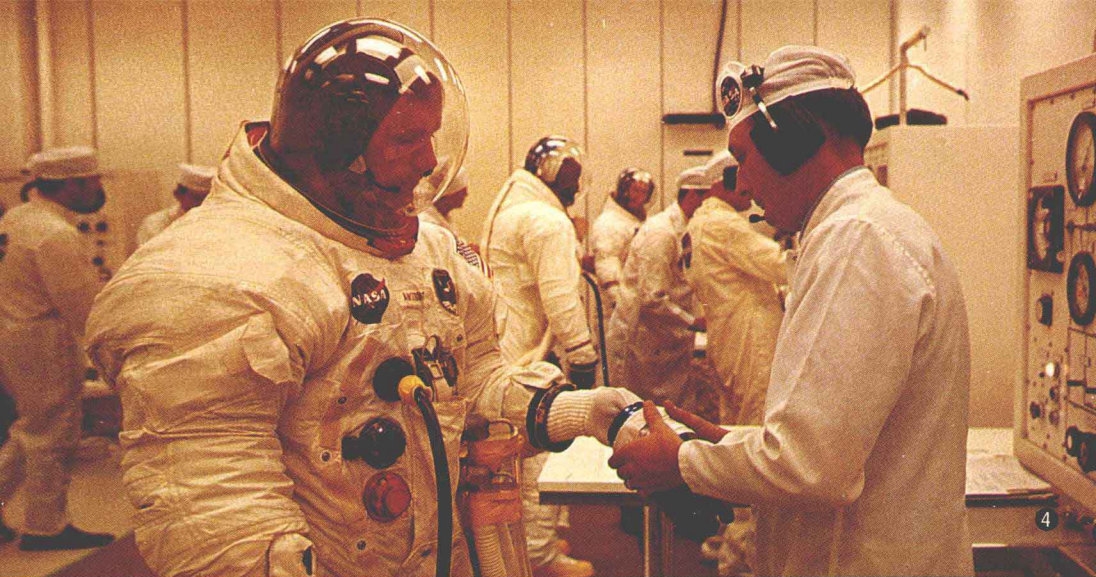




● ロケット発射台がたちならぶ
アメリカのフロリダ州、
ケープケネディ宇宙センター。
ここから三人の飛行士を
月におくりこむ
巨大なサターン5型ロケットが、
打ちあげられる。

② おおくの人たちが総力をあげて
製作中のアポロ司令船。
月着陸への準備は、
着々とすすんでいく。

③ 月面をまねてつくった
地上のセットの上で、
アームストロングとオルドリン、
両飛行士の訓練は、
本番そのままにおこなわれる。



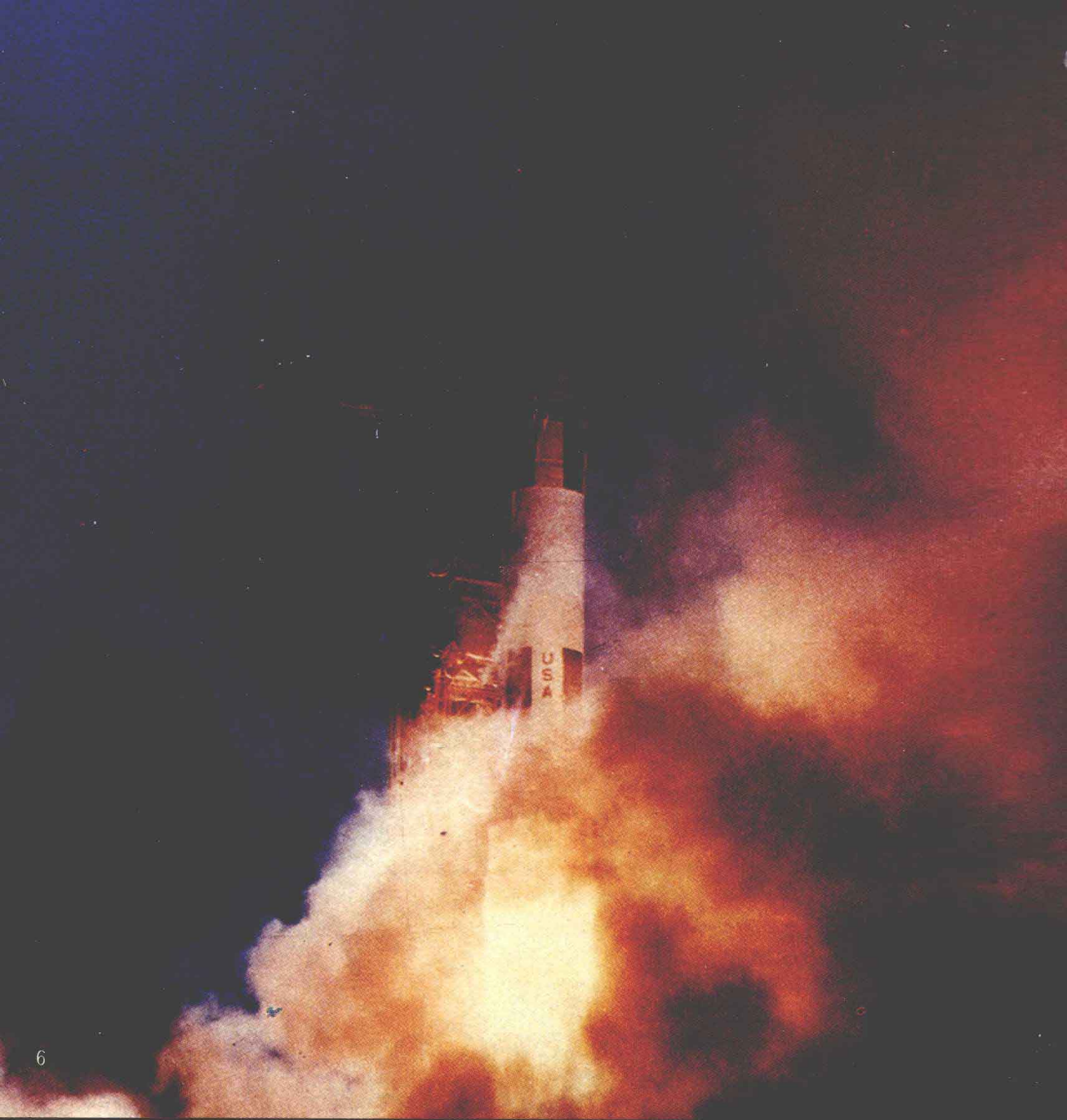
4



5

④ アポロ11号打ちあげの日、
出発をまえに技師から
最後のチェックをうける
アームストロング船長。
むこうには、
オルドリンとコリンズ飛行士の
すがたも見える。

⑤ 打ちあげ三時間七分まえ、
右手を高くかかげ、
見おくりの人たちに
わかれをつげながら
宇宙船オペレーションセンターを
でるアームストロング船長と、
コリンズ、オルドリンの三飛行士。
このあと三人は、
小型のバスにのりこみ、
巨大なサターン5型ロケットが
そそり立つ第三十九番A発射台へ
むかった。



●雲のきれまからアフリカ大陸の
いちぶを見せる地球。



⑥月への使者、

アームストロング、オルドリン、
コリンズの三飛行士をのせた
アポロ11号の

サターン5型ロケットは、
もうもうとたちこめる白い煙を
つきぬけて、

まっさおなフロリダの空に
のぼっていった。

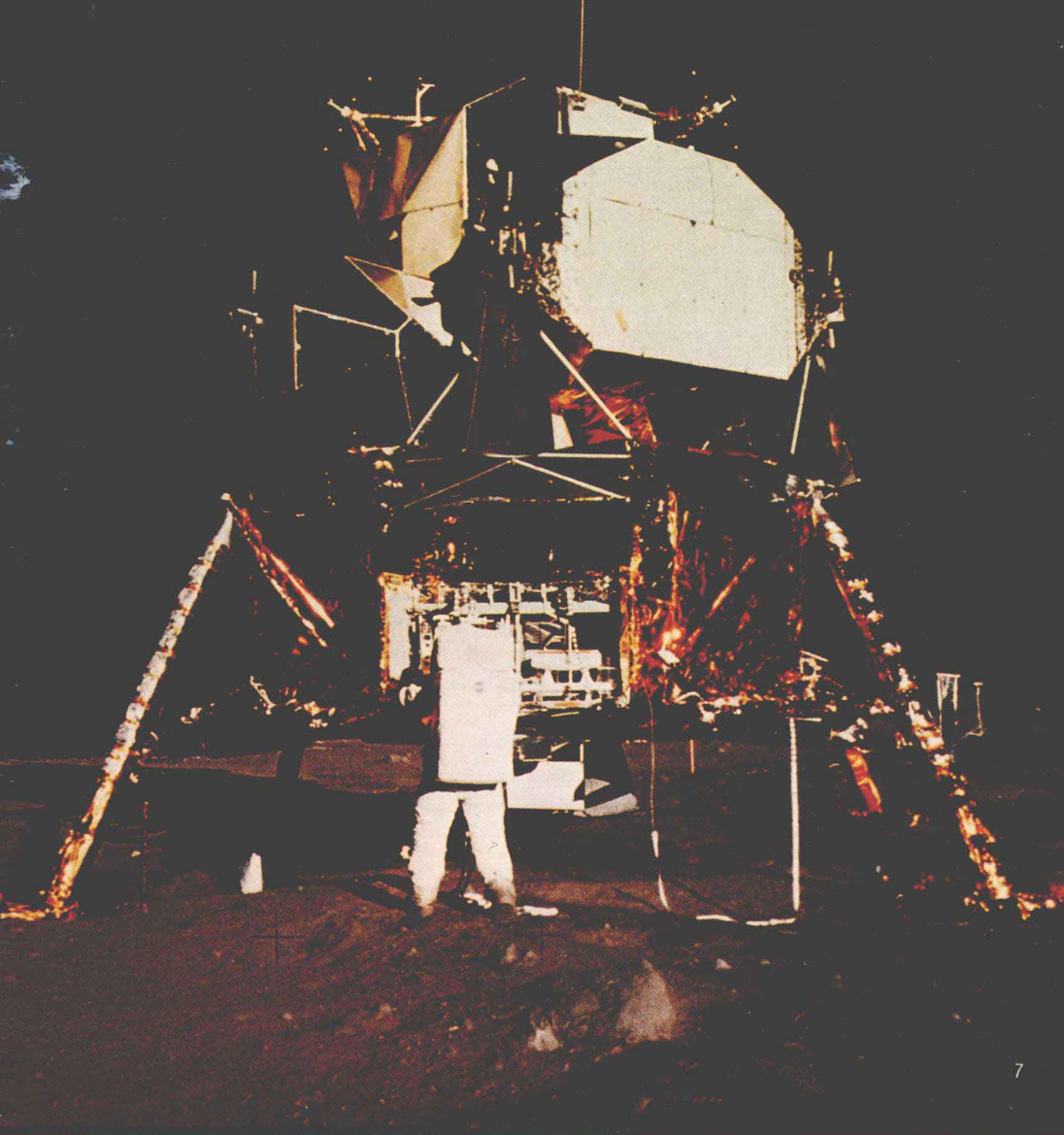
打ちあげから三日め、

アポロ11号から見た地球は、

右の写真のように

すっかり遠のいて、小さくなった。

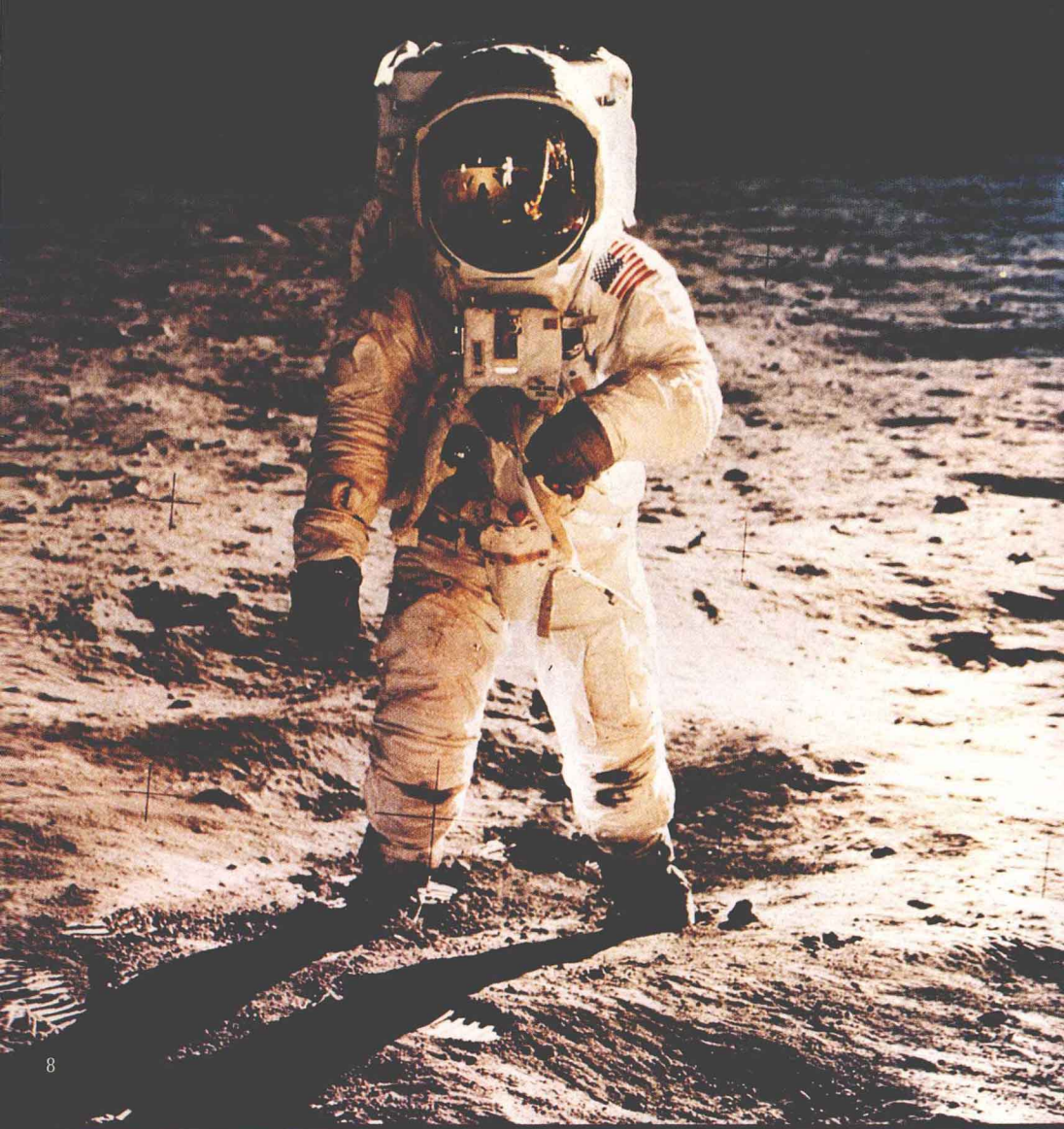
月着陸はいよいよまちかた。



●一九六九年七月二十日。
人類は、ついに月着陸に成功した。
月におりたった最初の人となった
アームストロング船長が、
月面でまずはじめに
しなくてはならない仕事は、
着陸のさい、月着陸船イーグルに
故障がなかったかどうかを
点検することであった。

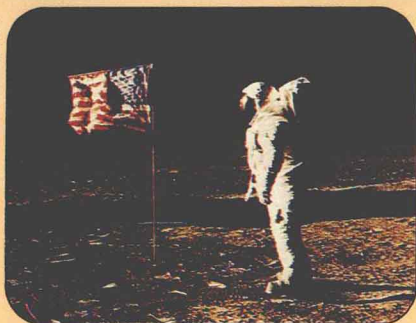
●アームストロング船長が、
月面にきざんだ偉大な足あと。





8

●月面にアメリカ国旗を立てる。



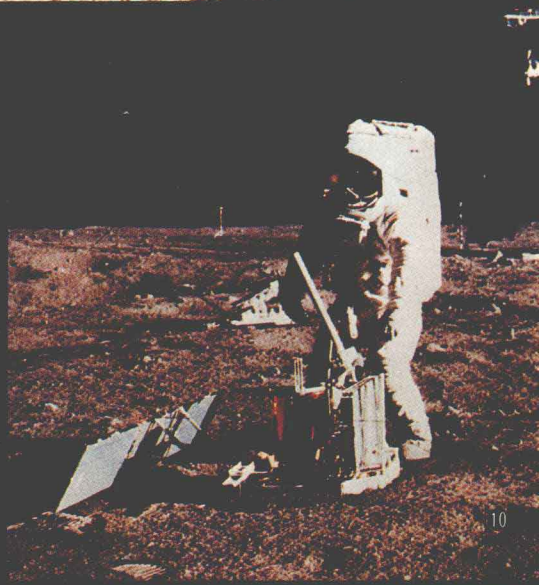
⑧アームストロング船長につづいて月面におりたった
オルドリン飛行士。
かれのマスクには、
月着陸船や
アームストロング船長の
すがたがうつっている。



9



11



10

⑨ 太陽風測定装置（太陽から
おくられてくる放射性粒子を
とらえる装置）を月面に立てる
オルドリン飛行士。

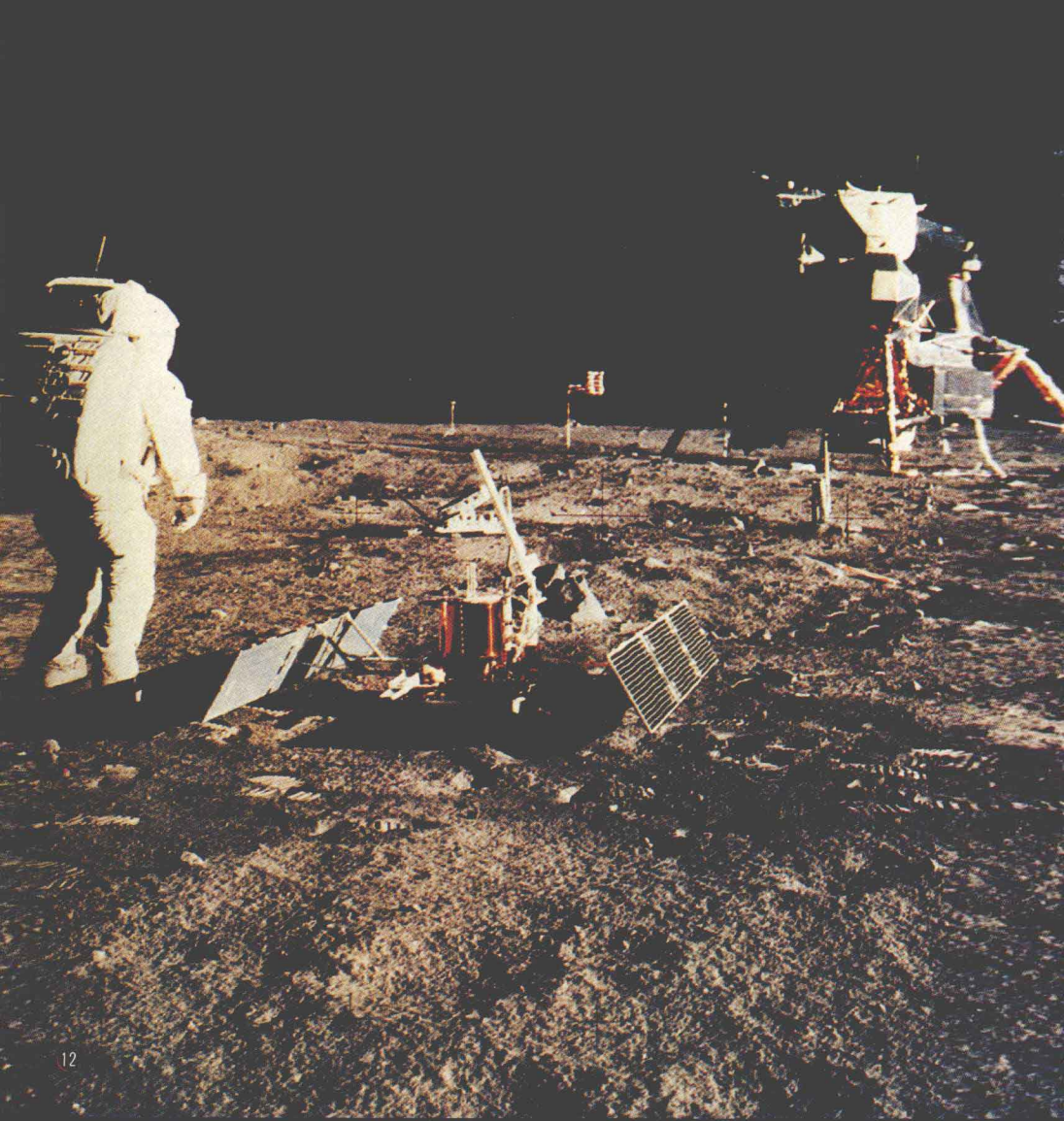
飛行士たちが背なかにせおった
生命維持装置のなかの酸素は、
四時間しかもたない。

月面活動は、
てきぱきとおこなわれていく。

⑩ 月面に地震計を設置する
オルドリン飛行士。

地震計は、月面の震動を測定し、
月の内部構造をときあかすのに
役だつ装置だ。

⑪ コア・サンブラーというくだを
月面に打ちこみ、
月の土を採集する
オルドリン飛行士。

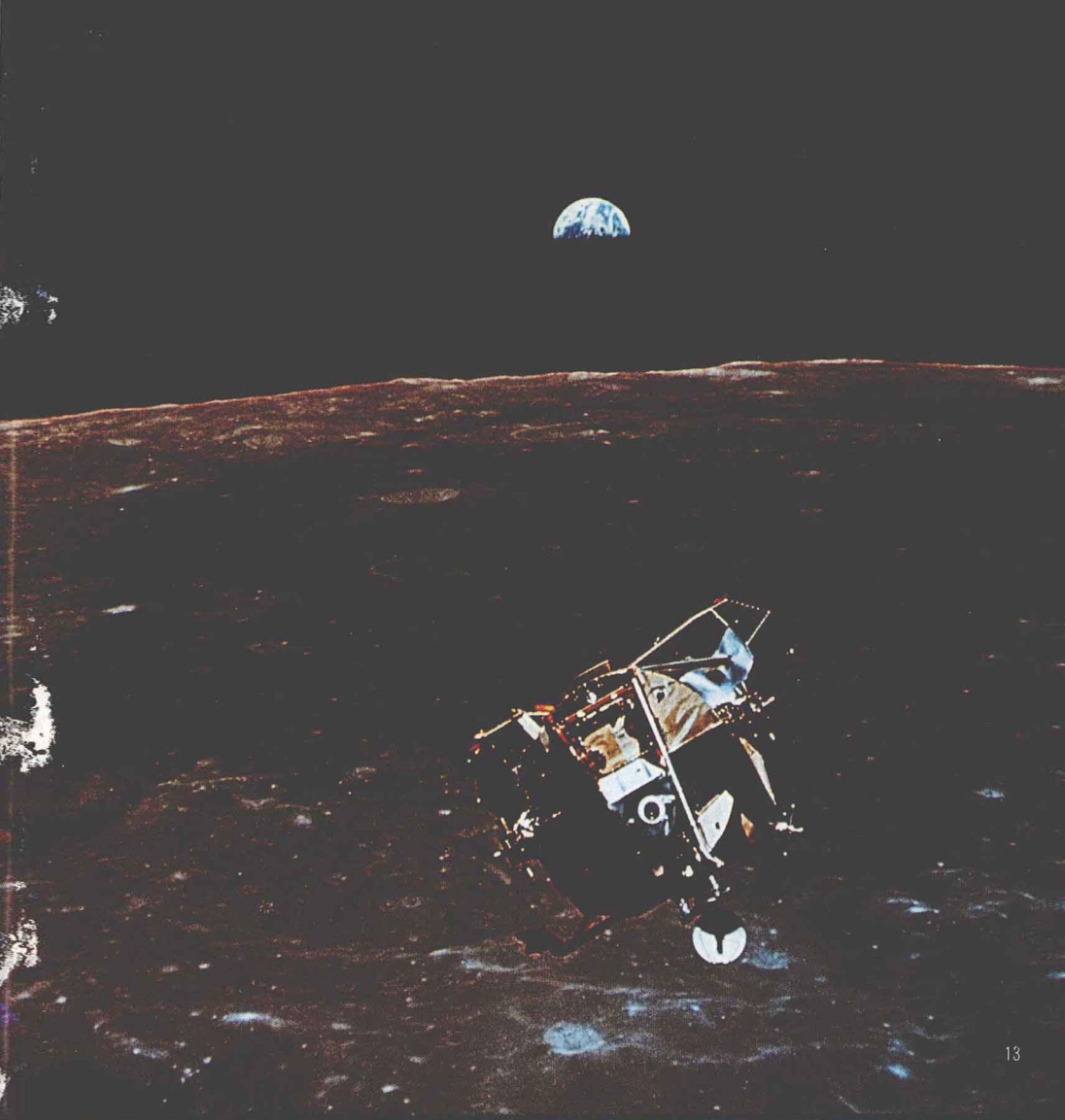


⑫ 静かの基地の全景。

月着陸船の下降部とともに
月面にいまものこされている。
この記念碑は、
平和のうちにここにやってきた。
われわれは、全人類の代表として
一九六九年七月。
ここに月面への第一歩をしるす。
「惑星地球からの人間、
この板には、つぎのような文字が
きざまれている。
金属板の記念碑。
とりつけられていた

● 月着陸船イーグルの着陸脚に





13



●アメリカの
ヒューストン管制センター内に
ある中央管制室。
アポロ宇宙船のすべての活動は、
ここからの指令によって
おこなわれる。

⑬ 静かの基地をとびたち、
月の軌道をまわる母船に
接近するイーグルの上昇部。
母船とのドッキングは成功し、
三飛行士は地球への帰途についた。



14

15

14 アポロ11号、着水の瞬間。
危険な大気圏突入も

ぶじにきりぬけ、

三人の飛行士は、

ついに地球にかえりついた。

15 着水後、

灰色の生物学かくり服を

着せられた三飛行士は、

大気圏突入で外がわが

やけただれた司令船をでると、

回収班が用意する

ゴムボートにのりうつった。



⑩ 夜空にかがやく
うつくしい月。

わたしたちの時代は、
あの遠い月に、とうとう
人類をおくりこんだのだ。

● ニューヨークで
熱狂的な歓迎をうける
アポロ11号の三飛行士。



人類初の月面着陸



アポロ11号の
記録



1 宇宙への挑戦

- 1月へのあこがれ……18 2 ロケット
のはじまり……24 3 おそろしい殺人
兵器……28 4 宇宙ロケット開発競争
……34 5 宇宙飛行士の誕生……42

17

2 月をめざして三十八万キロ

- 1 重さのない世界……50 2 アポロ宇宙船……52
3 かなしい事故死……56
4 いけ! アポロ11号……64 5 まつくらな宇宙空間へ……70
6 イーグルとコロンビア……74

49



3 月面への第一歩

83

1 こちら「静かの基地」……84
2 人類の偉大な一歩……90
3 カンガルー

とび……96
4 大統領の電話……100

4 「静かの海」をあとにして

107

1 月面から出発……108
2 トッキング

成功……114
3 たのしいテレビ放送

……119
4 宇宙からのメッセーシ……

122
5 「着水したぞ!」……127
6 字

132
宇宙元年……

年表

140

解説

142

